

猫や犬の過剰な繁殖を抑制し、殺処分などの不幸な死を減らそうと、上富田町朝来に今月、猫・犬の不妊去勢手術専門の動物病院がオープンした。費用は一般の動物病院に比べて低価格に設定。病院を運営する団体の代表理事で獣医師の橋本恵利子さん(40)は「行き場のない命を生まないために、手術を普及させたい」と話している。

運営しているのは、犬猫の不妊去勢手術の普及を進める一般社団法人「スペイベッツジャパン(SVJ)」(大阪府)。全国の獣医師約30人からなる組織で、行き場のない命の誕生を未然に防ぐため、メンバーは普段それぞれの勤務地域で活動している。

今回は、同町の動物愛護団体「ワンライフ」(島田香代表)の協力で、初めてSVJとしての動物病院を開院した。名前は「スペイベッツジャパン犬猫繁殖予防病院(南紀白浜)」。地元ボランティアらと連携しながら、過剰繁殖により行

手術をするスペイベッツ  
ジャパンの獣医師

(上富田町朝来で)



## 上富田に動物病院

# 不妊去勢手術に特化 不幸な命減らそう

が分かっており、同院では乳歯が残っている5カ月齢以下の子猫も4400円で

手術する。犬の場合は体格

などで費用が異なるため、

個別に問い合わせてほしい

という。不妊去勢手術に特化した動物病院は全国で増えているが、県内ではまだ少ない。同院では、年間千件の手術を目標にする。野良猫の捕獲などの相談にも応じる。橋本さんは「手術のハンドルを低くし、普及を進めたい。これは社会的な挑戦

もある。紀南での取り組みが全国のモデルケースになればいい」と話している。

予約、問い合わせは、同院の電話(080・7471・7566)、午前9時(午後6時)、SVJホームページ(info@spayvets.jp)で受け付けている。

き場を失う不幸な犬猫を紀南からなくすることを目標に活動する。

過剰繁殖は災害発生時にも注意が必要。被災したペットが野放しになり繁殖してしまう恐れがあるため、飼い主は平常時に手術を済ませておくことが重要だという。

開院は原則毎週木曜のみ。前日までに予約が必要で、費用は猫1匹5500円。猫の場合は4~5カ月齢から発情、妊娠すること

が分かっており、同院では乳歯が残っている5カ月齢以下の子猫も4400円で

手術する。犬の場合は体格

などで費用が異なるため、

個別に問い合わせてほしい

もある。紀南での取り組みが全国のモデルケースになればいい」と話している。